

【目次】

1. 必修研修計画書（様式2）	1
2. 所属校における研修（例）	6
3. 所属校における研修計画書（様式3）	7
4. 所属校における研修報告書（様式4）	13
5. 評価票の作成要領	19
6. 評価票（様式5）	21
7. 対象者追加申請書（様式6）	26
8. 事情説明書（様式7）	27
9. 免許状更新講習代替申請書（様式8）	29
10. 必修研修免除申請書（様式9）	30
11. 必修研修不参加届（様式10）	32
12. 必修研修受講記録（様式11）	33
13. 所属校における研修記録（様式12）	34
14. 他校種間交流研修の依頼書（様式13）	35
15. 問い合わせ・連絡先	36

参考：やまなし教員等育成指標一覧表（第2ステージ）

と社 会 人 として	法令遵守	高い倫理観を持ち、法令を遵守している。	
	自立	豊かな人間性と深い教養を持ち、自立している。	
	協働・創造	優れたコミュニケーション能力を持ち、周囲と協働して新たな価値を創り出している。	
	使命感・責任感	教育公務員としての崇高な使命と責任感を持って教育にあたっている。	
教員 として	教育的愛情	児童生徒一人一人に愛情をもち、未来の山梨を担う人材を育成している。	
	意欲	時代の変化に対応し、自らの資質能力・実践力を向上させようとしている。	
	研究能力	継続的かつ積極的に授業研究を行い、児童生徒に深い学びを提供している。	
	学習指導	「主体的・対話的で深い学び」の授業を展開し、適切な評価を行っている。	
生徒 指導	学級経営	集団の課題を明確にし、それを同僚と共有し、協働して解決を図っている	
	児童生徒理解	きめ細かな観察や励まし、カウンセリングの技法等を用いて、児童生徒の意欲を高めている。	
	道徳性の涵養	道徳性の高まりや変容を適切に見取り、同僚と共有し、指導に生かしている。	
職 業 と し て の 専 門 性	キャリア教育	キャリアプランの実現に向けた指導を同僚と連携・協働して行っている。	
	特別支援教育	特別支援教育に関する専門性を高め、関係諸機関と連携・協働し、効果的な指導をしている。	
	学 校 運 営	教育課程	学校の教育目標達成に向け、カリキュラム・マネジメントに基づき、教育課程を実施している。
		連携・協働	関係諸機関と連携・協働し、課題解決に向け取り組んでいる。
研修		研修内容や成果を同僚と共有し、児童生徒に還元している。	
学校安全		方針やマニュアル等に基づいた取組を推進し、その改善に努めている。	
新 た な 教 育 課 題	グローバル化への対応	ふるさと山梨を深く理解し、地球的視野に立って主体的に行動する児童生徒を育成している。	
	情 報 教 育 の 推 進	ICT活用能力	ICTを活用して、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業を展開している。
		情報モラル	情報モラルを身につけ、情報を有効に活用できる児童生徒を育成している。
養 護 教 諭 と し て の 専 門 性	保健管理	家庭や地域の医療機関等との連携体制づくりを推進している。	
	保健教育	児童生徒の健康課題解決をめざした指導計画立案に関わり、実践している。	
	健康相談	いじめや虐待を含む課題の早期発見に努め、解決のための支援体制を整備している。	
	保健室経営	保健室経営計画を教職員に周知し、校内の組織運営に積極的に役割を果たそうとしている。	
	保健組織活動	校内の保健組織活動を主体的にすすめられるよう内容の工夫と、学校医等との連携体制を整備している。	
栄 養 教 諭 と し て の 専 門 性	栄養管理	児童生徒の実態や学校・地域の特色に応じた献立を作成し、施設に合わせた調理指導をしている。	
	衛生管理	給食施設や学校の課題を的確に捉え、調理から喫食までの衛生管理について指導・助言をしている。	
	個に応じた対応・指導	児童生徒の健康状況に応じて、教職員や保護者と連携して対応・指導を行っている。	
	食 に 関 す る 指 導	指導計画の立案と推進	指導計画の立案に中心的な役割を果たし、食育を推進している。
		学校給食の活用	給食時の指導計画を示し、学校給食の教材化を図っている。
教科等における指導		教職員と連携して、教科等での食に関する指導の内容、評価の計画作成を行っている。	

評価票 (教諭)

校種	小学校	所属校名	御坂成田小学校		職員番号	00123456
名簿番号	200998	職名	教諭	氏名	成田 太郎	
研修開始	R2. 4. 1	研修修了期限	R7. 3. 31	評価基準日	R2. 3. 1	

やまなし教員等育成指標の分野		自己評価	管理職評価
社会人としての素養	法令遵守、自立協働・創造	A	B
教職としての素養	使命感・責任感 教育的愛情 意欲、研究能力	B	C
学習指導	—	C	D
生徒指導	学級経営	D	A
	児童生徒理解	A	B
	道德性の涵養	B	C
キャリア教育	—	C	D
特別支援教育	—	D	A
学校運営	教育課程	A	B
	連携・協働	B	C
	研修	C	D
	学校安全	D	A
新たな教育課題	グローバル化への対応	A	B
	情報教育の推進	B	C

特記事項 (育児休業等取得中の場合は、その期間を記入すること)	なし
------------------------------------	----

評価者	所属校	御坂成田小学校 校長 育成 花子	私印
	市町村(組合)教育委員会	上記の通り認める 総合教育市 教育委員会 教育長 教育 太郎	私印

上記の者は、中堅教諭等資質向上研修(必修研修及び所属校における研修)を修了したことを確認しました。

修了 確認者	所属校	学校 校長	私印
	市町村(組合)教育委員会	教育委員会 教育長	私印

評価票 (教諭)

校種	小学校	所属校名	御坂成田小学校		職員番号	00123457
名簿番号	200999	職名	教諭	氏名	成田 花子	
研修開始	R2. 4. 1	研修修了期限	R7. 3. 31	評価基準日	R2. 3. 1	

やまなし教員等育成指標の分野		自己評価	管理職評価
社会人としての素養	法令遵守、自立協働・創造	—	—
教職としての素養	使命感・責任感 教育的愛情 意欲、研究能力	—	—
学習指導	—	—	—
生徒指導	学級経営	—	—
	児童生徒理解	—	—
	道德性の涵養	—	—
キャリア教育	—	—	—
特別支援教育	—	—	—
学校運営	教育課程	—	—
	連携・協働	—	—
	研修	—	—
	学校安全	—	—
新たな教育課題	グローバル化への対応	—	—
	情報教育の推進	—	—

特記事項 (育児休業等取得中の場合は、その期間を記入すること)	例：育児休業中のためR2研修受講せず 育休予定期間：R1. 10. 10～R3. 3. 31
------------------------------------	---

評価者	所属校	御坂成田小学校 校長 育成 花子	私印
	市町村(組合)教育委員会	上記の通り認める 総合教育市 教育委員会 教育長 教育 太郎	私印

上記の者は、中堅教諭等資質向上研修(必修研修及び所属校における研修)を修了したことを確認しました。

修了確認者	所属校	学校 校長	私印
	市町村(組合)教育委員会	教育委員会 教育長	私印

評価票 (教諭)

校種		所属校名			職員番号	
名簿番号		職名	教諭	氏名		
研修開始	R2. 4. 1	研修修了期限	R7. 3. 31	評価基準日	R2. 3. 1	

やまなし教員等育成指標の分野		自己評価	管理職評価
社会人としての素養	法令遵守、自立 協働・創造		
教職としての素養	使命感・責任感 教育的愛情 意欲、研究能力		
学習指導	—		
生徒指導	学級経営		
	児童生徒理解		
	道德性の涵養		
キャリア教育	—		
特別支援教育	—		
学校運営	教育課程		
	連携・協働		
	研修		
	学校安全		
新たな教育課題	グローバル化への対応		
	情報教育の推進		

特記事項 (育児休業等取得中の場合は、 その期間を記入すること)	
--	--

評価者	所属校	学校 校長	私印
	市町村(組合) 教育委員会	上記の通り認める 教育委員会 教育長	私印

上記の者は、中堅教諭等資質向上研修(必修研修及び所属校における研修)を修了したことを確認しました。

修了 確認者	所属校	学校 校長	私印
	市町村(組合) 教育委員会	教育委員会 教育長	私印

評価票 (養護教諭)

校種		所属校名			職員番号	
名簿番号		職名	教諭	氏名		
研修開始	R2. 4. 1	研修修了期限	R7. 3. 31	評価基準日	R2. 3. 1	

やまなし教員等育成指標の分野		自己評価	管理職評価
社会人としての素養	法令遵守、自立協働・創造		
教職としての素養	使命感・責任感 教育的愛情 意欲、研究能力		
生徒指導	児童生徒理解		
	道徳性の涵養		
キャリア教育	—		
特別支援教育	—		
学校運営	連携・協働		
	研修		
	学校安全		
養護教諭としての専門性	保健管理		
	保健教育		
	健康相談		
	保健室経営		
	保健組織活動		

特記事項 (育児休業等取得中の場合は、その期間を記入すること)	
------------------------------------	--

評価者	所属校	学校 校長	私印
	市町村(組合)教育委員会	上記の通り認める 教育委員会 教育長	私印

上記の者は、中堅教諭等資質向上研修(必修研修及び所属校における研修)を修了したことを確認しました。

修了確認者	所属校	学校 校長	私印
	市町村(組合)教育委員会	教育委員会 教育長	私印

評価票 (栄養教諭)

校種		所属校名			職員番号	
名簿番号		職名	教諭	氏名		
研修開始	R2. 4. 1	研修修了期限	R7. 3. 31	評価基準日	R2. 3. 1	

やまなし教員等育成指標の分野		自己評価	管理職評価
社会人としての素養	法令遵守、自立協働・創造		
教職としての素養	使命感・責任感 教育的愛情 意欲、研究能力		
生徒指導	児童生徒理解		
	道徳性の涵養		
キャリア教育	—		
特別支援教育	—		
学校運営	連携・協働		
	研修		
	学校安全		
栄養教諭としての専門性	栄養管理		
	衛生管理		
	個に応じた対応・指導		
食に関する指導	指導計画の立案と推進		
	学校給食の活用		
	教科等における指導		

特記事項 (育児休業等取得中の場合は、その期間を記入すること)	
------------------------------------	--

評価者	所属校	学校 校長	私印
	市町村(組合)教育委員会	上記の通り認める 教育委員会 教育長	私印

上記の者は、中堅教諭等資質向上研修(必修研修及び所属校における研修)を修了したことを確認しました。

修了確認者	所属校	学校 校長	私印
	市町村(組合)教育委員会	教育委員会 教育長	私印

対象者追加申請書 様式 (様式6)

〇〇〇発〇〇〇番
令和〇〇年3月〇〇日

山梨県総合教育センター所長 殿

〇〇立〇〇〇〇学校
校長 〇〇〇〇
(公印省略)

令和〇〇年度中堅教諭等資質向上研修の対象者について (追加申請)

- 1 対象者追加申請者 職・氏名
- 2 追加申請の理由

※対象者追加の理由例については、実施細則7-(1)に則って具体的に記載すること。

※提出先は総合教育センター研修指導課とする。

担当者名
連絡先

山梨県総合教育センター所長 殿

【記入例】

- ・ 対象となった年度から5年間を産休及び育休で休業した場合の事情説明書。
- ・ 対象期間が令和2年4月1日～令和7年3月31日のときは、令和6年6月に提出することとなる。

〇〇立〇〇〇〇学校
校長 〇〇〇〇
(公印省略)

令和〇〇年度中堅教諭等資質向上研修の対象者について (事情説明)

1 対象者 教諭 田中 花子

2 内容 対象期間での必修研修の未完了 (見込)

3 理由 産休及び育休の取得のため

ア. 産休・育休等の期間

- ・ 第1子出産のため、令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日まで産休
- ・ 令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日まで育児休業
- ・ 第2子出産のため、令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日まで産休
- ・ 令和〇年〇月〇日から令和7年3月31日まで育児休業の予定

イ. 採用年月日 平成22年4月1日

ウ. 対象となった年月日 令和2年4月1日

エ. 対象期間 平成2年4月1日～平成7年3月31日

オ. その他

- ・ 令和7年3月31日まで育児休業を取得予定のため、必修研修は令和7年度以降に受講予定。
- ・ 所属校研修においては、令和7年度に実施予定。

担当者名
連絡先

山梨県総合教育センター所長 殿

〇〇立〇〇〇〇学校

校長 〇〇〇〇

(公印省略)

令和〇〇年度中堅教諭等資質向上研修の対象者について (事情説明)

- 1 対象者 職・氏名
- 2 内容
- 3 理由

内容については

- ・対象期間での必修研修の未完了 (見込) 等
- ・対象期間での所属校研修の未完了 (見込) 等

理由については、以下の点を含めて詳細に明記すること。

- ア. 産休・育休等についてはその期間 (年月日)
- イ. 採用年月日
- ウ. 対象となった年月日
- エ. 対象期間 (中堅研を受けるべき5年間)
- オ. その他、必要な事項

担当者名
連絡先

免許状更新講習代替申請書

年 月 日

山梨県総合教育センター所長 殿

山梨県公立学校中堅教諭等資質向上研修実施細則5-(1)に則って、以下のとおり必修研修の代替を申請いたします。

校種		職員番号		名簿番号	
所属校名			氏名		

代替する必修研修	必修6	必修7	必修8
代替申請をする場合は○			
対応する免許更新講習	必修領域	選択必修領域 旧必修領域	選択領域

上記申請に必要な教員免許状更新講習の受講を確認しました。			
年	月	日	学校名
			校長名
			(公印)

※ 校長は免許状更新講習「確認証明書」または「修了証明書」によって講習の受講を確認してください(添付は不要です)。

必修研修免除申請書

年 月 日

山梨県総合教育センター所長 殿

山梨県公立学校中堅教諭等資質向上研修実施細則5-(2)に則って、以下のとおり必修研修の免除を申請いたします。

校種		職員番号		名簿番号	
所属校名			氏名		

免除申請する必修研修の科目及び番号	免除の理由 (別表に則る場合は別表番号とその内容を記入)

上記申請に必要な研修の受講等を確認しました。

年 月 日 学校名

校長名 (公印)

※ 内容の確認に必要な書類を添えてください。

必修研修免除申請書（様式9）の作成について

（記入例）

校種	小	職員番号	○○○○○○○○○○	名簿番号	○○
所属校名	○○高等学校		氏名	○○ ○○	

免除申請する必修研修の科目及び番号	免除の理由 (実施細則・別表に則る場合は別表番号とその内容を記入)
必修2～8の全て	実施細則・別表番号1:教職員等中央研修「中堅教員研修」の受講 受講期間:平成○○年○○月○○日～平成○○年○○月○○日
必修6-1	実施細則・別表番号34:山梨県教育委員会教育職員免許法認定講習(小学校教員講習)「教育課程及び指導法に関する科目」1単位 単位取得:平成○○年○○月○○日 山梨大学 科目名:「情報教育とICTの授業における活用」

1 書類の作成・提出の手順

- ① 免除を申請する対象者は申請書に必要事項を記載し、内容の確認に必要な書類を添えて校長に提出する。
- ② 校長は、申請書の記載に相違がない事を確認の上、公印を押印し、内容の確認に必要な書類を添えて提出する。(提出締切日は6月中旬。詳しくは実施手順参照。)
 - 提出先 小・中学校 → 市町村教委 → 総合教育センター
 - 高校・特支 → 総合教育センター

2 内容の確認に必要な書類について

免除の理由の内容確認は以下の書類の提出をもって行う。

- ① 研修の受講及び協議会への参加の場合
 - 主催者からの派遣依頼，山梨県教育委員会からの決定通知，研修の修了証書等，本人の受講が確認できる書類。
- ② 公開授業での実践等の場合
 - 実施要項，作成した学習指導案，研究協議の記録等，本人の授業実践が確認できる書類。
- ③ 教員職員免許法認定講習の受講の場合
 - 教育委員会が発行した単位修得証明書。
- ④ 専修免許状取得による免除を申請する場合（実施細則5－（2）－ア）
 - 免除となる必修研修等を含め，別途指示する。

(様式10)

〇〇〇発〇〇〇番

〇〇年〇月〇〇日

山梨県総合教育センター所長 殿

学校名

校長名

職印

中堅教諭等資質向上研修 必修研修不参加届

このことについて、本校 職名 () 氏名 () は、

下記研修会に

- 1 参加できません
- 2 遅刻します
- 3 早退します

※1～3のいずれかに○印を付ける。

校種または 職種		名簿番号		職員番号	
研修会番号		研修会名	研修会		
研修会実施年月日	年 月 日 ()				
事 由					

所属校における研修記録

- 1 研修対象者 所属 職・氏名

- 2 実施日時 ○○年○月○日（○曜日） ○時○○分～○時○○分

- 3 研修内容 ○○○について

- 4 指導者 職・氏名

- 5 実施方法・実施内容

- 6 使用した資料等の添付

- この記録は年度末の本人及び管理職の事後評価および、実施校における次年度等の研修指導の参考のために作成するものとする。（県教委への提出は不要。）研修内容の県教委等への報告については別紙・所属校における研修報告書〔様式4〕を作成し、提出するものとする。
- 総合教育センター等における必修研修の記録は、別途その様式に従うものとする。
- この記録は、コピーを1部作成し、原本を本人が保管し、コピーは実施から5年間実施校にて保管しておくものとする。

(様式13)

〇〇発 〇〇号
年 月 日

(研修依頼先所属長) 殿

中堅研修対象者所属校長 (公印)

〇〇〇〇年度中堅教諭等資質向上研修 他校種間交流研修について (依頼)

このことについて、次により本校教諭〇〇 〇〇 が研修いたします。
つきましては、貴職をはじめ関係の方々から御指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

1 研修の日時及び期間

年 月 日 時 分 から 時 分まで

2 研修内容

※どのような研修に参加するのかについて、参観授業 (学年・担当教員等) 及び研究協議等を記入のこと。

※本書式例は、研修を依頼する際に必要に応じて研修先の学校に送付してください。

中堅研対象者 学校名・氏名
電 話
F a x
E-mail

質問・問い合わせ先

- ※研修全般に関すること
- ※研修の内容・計画・申込みについて
- ※研修会の欠席について
- ※評価票・対象者名簿について など

山梨県総合教育センター学校教育支援部研修指導課

TEL 055(262)5871 FAX 055(262)5572

E-mail ypec-kenshu@kai.ed.jp